



「私と平和」

戦後80年を迎え、子ども情報研究センターは過去の歴史、現実を知り、考え、対話し、
これからの〈平和と人権〉を希求します。

子ども情報研究センターの初期より活動されてきた天野忠雄さんから、戦後の平和運動、
日本の保育・教育についてお話いただき、今現在の世界の状況をみつめなおし、これから
私たちができることについて、ともに考えたいと思います。

「戦火の中にいた子どものひとりとして」 ～堺大空襲のこと～



1945年7月10日の堺大空襲で自宅前の防空壕に焼夷弾が落ち、妹を背負って
いる母とはぐれないように炎の中を一生懸命に走った体験などをお話しいた
できます。

1946年 錦小学校(当時はまだ国民学校)に入学。授業は、教科書は・・・。

【1945年7月10日 堺大空襲】

空襲は、午前 1時33分から 3時6分までの間、B29米軍爆撃機116機の焼夷弾攻撃により、18,446戸が
焼失あるいは破壊され、7万人が罹災しました。死者は1,860人、重軽傷者は972人にのぼりました。
罹災した面積は約22万6千坪に達し、旧市内の62%に相当する面積が火の海と化し、土居川の水さえ
熱湯となり、川面に飛び込んだ人々の死体で埋め尽くされました。龍神駅付近においても逃げ場を
失った数百人の市民が一同となって焼死しました。(堺市ホームページ「1945(昭和20)年の出来事」より)

天野忠雄さんプロフィール

昭和15年生まれ。大阪市、和泉市で体育科教員として勤務。同時に子ども情報研究センター
等で保育所の保育士さんたちと幼児のからだ育ての研究活動に参加。
からだ・ことば・リズムを一体化したつまき体操という独特のからだ観をもつ体操と出会
い、その伝え手として東奔西走してこられた。現在、からだ育て研究部会代表。

著書：『ふれあいあそびからの出発—からだ・リズム育ての理論と実践』



日時

2025年12月17日(水) 14時00分～15時30分

場所

HRCビル10階会議室 (大阪市港区波除4丁目1番37号)

・JR環状線「弁天町」駅から600m(徒歩約8分)

・OsakaMetro中央線「弁天町」駅から700m(徒歩約10分)

参加費

無料

申込み

メールまたはフォームよりお申込みください

お申込みフォーム →



【お問い合わせ】

公益社団法人子ども情報研究センター

電話：06-4708-7087 FAX：06-4394-8501

メール：kenshu@kojoken.jp